



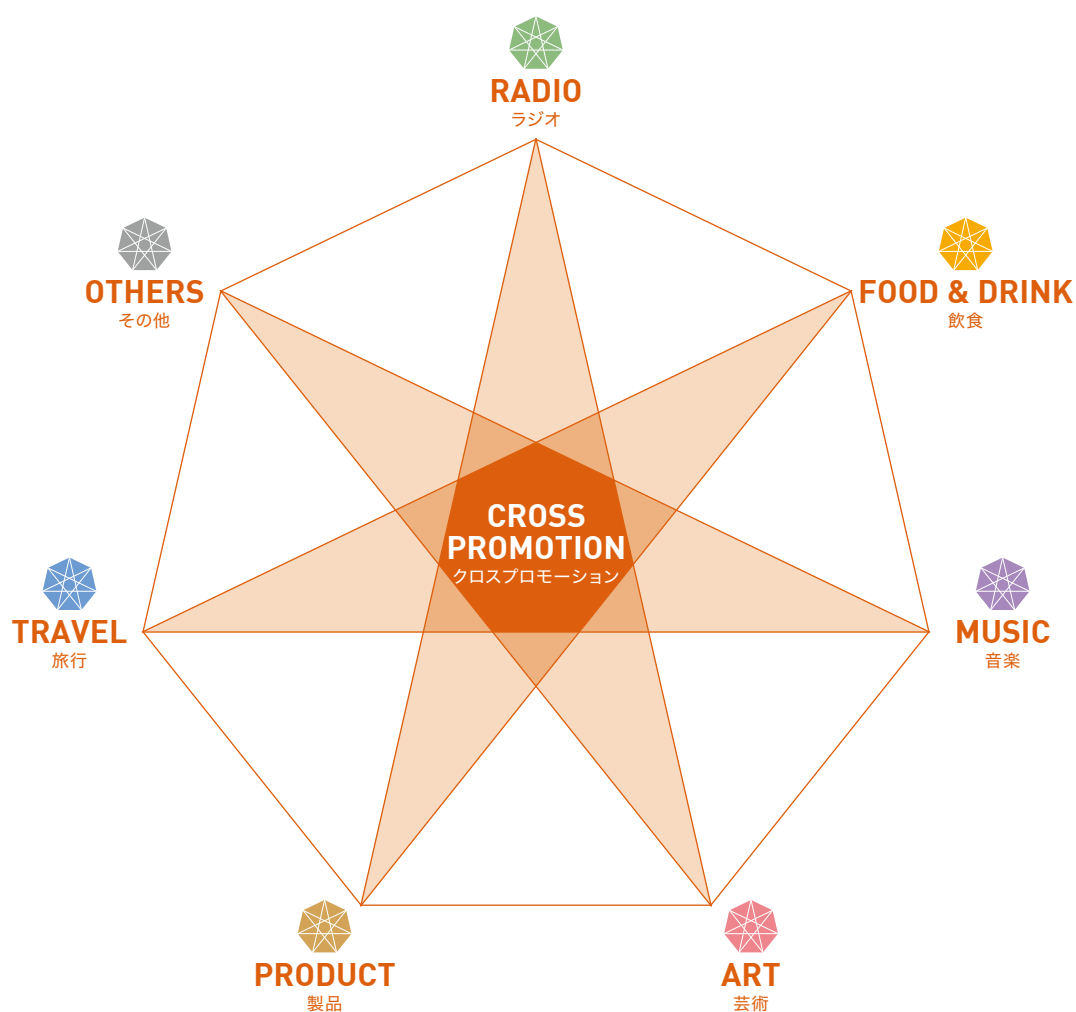
PERFORMANCE

"COMI×TEN" is a place that connects people to people,
towns and local places.

Culture, Art, & Music around us.

We will connect and expand various people,
things and objects.

Place that Connects



放送後の反響が多数。 様々なメディアで紹介された番組。

大分県福岡事務所



大分県の魅力・情報を発信したい。大分回帰（就職は大分、住まいも大分）を実現するための施策を検討されている時に、PRに最適なラジオ番組を提案。

「番組に興味を持つ＝大分県に興味を持つ」その流れを確立させるために、現役の学生がメインパーソナリティーを務める。番組名も『わくわく! 天神かぼす風呂』でフレッシュな番組と人気に。

POINT

- *大分出身で福岡在住の学生がメインパーソナリティーを務め、若者の視聴層を掴む。
- *大分の企業の方がゲストで出演するなど、オール大分・大分愛が溢れる番組に。



DRAW MEDIA ATTENTION

ラジオ番組放送後、多くのメディアにて取り上げられた。

毎日新聞



Gate



GUEST

九州経済界から多くの方がゲストとして登場。未来ある若者に向けての話など、貴重な放送を行った。



九州電力代表取締役 社長執行役員
渡辺和弘氏

懐かしさと新しさを味わえ、 生産者の顔が見える「まつうらカフェ」。

松浦市福岡事務所



鯆の水揚げ日本一で「アジフライの聖地」と呼ばれる松浦市。他にも農産物など魅力が詰まった「松浦の美味しい」を広げたい…松浦の皆さまの想いをカタチにするため「まつうらカフェ」の開催が決まった。

事前準備として現地に赴き、生産者の方にお会いし、その良さを徹底的にリサーチ。生産品の新しい魅力を引き出すために、料理研究家とともにオリジナルメニューを開発し、多くの来場者に堪能してもらった。

POINT

- ＊素材そのままの良さ、新たな魅力の創造。両者を共存させたイベント。
- ＊生産者の紹介を交えた展示。都心で地域の魅力に触れ、味わえると好意的な意見が多数。



ORIGINAL MENU

水揚げ日本一の「アジ」

産地直送で新鮮な松浦のアジ。



麵をつけて揚げた「アジフライドッグ」

守山ファームの「イチゴ」

地元の和菓子にも採用されるイチゴ。



イチゴ(スターナイツ)フルーツサンド

カラフルファームの「食用花」

食べられる花を栽培。食卓をカラフルに。



フラワーシフォンケーキ〜松浦メロン添え〜

『コミてん』がライブハウスに変身。 秋の夜長、お酒を片手にジャズに酔いしれる。

テヅカノトリセツ

Jazz
Night

ラジオ番組出演のために来福したアーティストが『コミてん』を気に入り、ぜひライブを行いたいと要望。ラジオスポンサーもアーティスト支援(福岡での知名度向上)に貢献したいと主催を申し出る。

当日は特別なフード・ドリンクメニューを用意し、ワンドリンク付きの入場となった。ラジオスポンサーにラジオリスナー、一般の顧客など30名限定のライブは満席となり、ジャズの演奏と歌声に聴き惚れる空間となった。

POINT

- *アーティストは福岡では初のライブ。『コミてん』がアーティスト支援に貢献。
- *スポンサーにリスナー、一般の顧客など、ライブをきっかけに交流が深まった。



ARTIST



Masatoshi Sugiyama

Riko Shimatanai

【島谷理子】ボーカリスト。大阪生まれ。映画ミュージカルに影響を受け、幼少期よりクラシックバレエ、タップダンスを学ぶ。2000年にヴィブラフォン奏者・鍋島直純氏と出会い、JAZZに触れた後に独学で歌を始める。2011年春よりカナダのトロントにて活動をはじめ2012年秋に帰国。某外資系ホテルにて日本人初のハウスシンガーを務める。2014年9月に自身初のアルバムをリリース。2016年5月「神戸ジャズヴォーカルクイーンコンテスト」にて特別賞受賞。

【杉山悟史】4歳から12歳までをドイツのハンブルグで過ごし、小学校時代にクラシックピアノを学ぶ。在学中より地元のライブハウスで活躍。2008年「第2回神戸ネクストジャズコンペティション」準グランプリ受賞。2012年ニューオリンズのフレンチクォーターフェスティバルに出演。2014年に単身渡米し、2年間の滞在中に現地ミュージシャンとのセッションを重ねる。

コロナ禍でのアーティスト支援。 おっぱいをテーマにした現代アート展覧会。

株式会社 and GALLERY

OP
PAI、

『コミてん』は福岡市の「文化・エンターテインメント施設
開放事業」に賛同。現代社会の女性にまつわるエトセトラ
をアートを通して世の中に伝えていきたい…アーティスト
の想いを叶える展示会を開催。

作品のテーマは「恋愛・妊娠・結婚・出産・育児・病気・貧
困・女性蔑視・セクシャリティ」など、女性を取り巻く課題
をユーモアかつポップに表現。ワークショップを行うなど
参加型のイベントを実施した。

POINT

- *「こどもの性教育」や「妄想美術ワークショップ」など、様々なプログラムを取り入れた。
- *雑貨&アートの販売を行い、イベント終了後も広く認知されることに寄与。



WORKSHOP



開催中は様々なプログラムが行われた。



雑貨やアート作品の展示即売

コロナ禍でのアーティスト支援。 彫刻的で繊細な「福重英一郎」磁器作品展。

英一郎製磁



英一郎製磁

福岡市「文化・エンターテインメント施設開放事業」を通じたアーティスト支援。従来の焼き物のイメージにとらわれない作風で無彩の白磁に施す作陶、福重英一郎の世界観を多くの方に紹介する機会を創出した。

多くのファンを持つ英一郎氏。コロナ禍で会えなかった方々にとって待望の展示会で、会場は多くの方が来場された。会場は長崎・波佐見焼をルーツにした、白が印象的な英一郎氏の繊細で美しい磁器で飾られた。

POINT

- ＊模様をつけない・形にこだわる作品を展示。一般の来場者もその美しさに魅了された。
- ＊音楽アーティストとしても活躍の英一郎氏。ギター弾き語りLIVEを行い、会場を盛り上げた。



ARTIST



音楽アーティストとしても活躍の
英一郎氏のギター弾き語りLIVE。



Eiichi

【英一郎】英一郎製磁 代表／磁器彫刻作家（陶芸家・彫刻家）

武蔵野美術大学彫刻科専攻 ルーツは10代にわたり江戸時代より波佐見焼を生産してきた窯元「福幸製陶所（幸山陶苑）」。

母は陶芸家福重美和。彫刻的繊細な要素を無彩の白磁に施す作陶は独自の世界観があり、テーブルウェア、インテリアグッズ、アクセサリー、お骨壺など、様々な作品製作を手がける。また、オーダーによる一品制作物や、公共施設などに設置されるモニュメントなど、大型彫刻作品も手がけており、東京銀座を始め全国各地での展示販売を展開。アメリカロサンゼルスなど海外進出も果たしている。

代表作

- 世界的ピアニスト・故園田高弘氏を顕彰する白磁製メモリアルレリーフ像
- 日本音楽教育の先駆者・故園田清秀氏のブロンズレリーフ像
- 脚本家・故市川森一氏／白磁彫刻骨壺
- 市川森一／脚本賞トロフィー

匠の技や文化を現代に残す。 伝統工芸をアートウォール(壁)へ。

(株) 鶴海織物工場 × (株) 継ぐ



【伝統工芸：鶴海氏】

祖父の代から続く博多織メーカーの代表で、『コミてん』にはラジオのゲストとして登場。博多織などの伝統工芸を後世に残し、普及させたいと願う。

【建築施工：三宅氏】

大手住宅メーカー在籍時にラジオスポンサーとして『コミてん』に関わる。他業種の方との出会いから、伝統工芸・地方活性化への思いを強くする。

RESULT

『コミてん』が企画するマッチング会にて両者が出会い、想いや方向性が一致する。この出会いをきっかけに、三宅氏は独立・起業し「株式会社 継ぐ」を設立。博多織に加え、博多人形・高取焼・博多曲物といった伝統工芸が飾られた「アートウォール(壁)」を完成させた。

POINT

- *『コミてん』のマッチング会から始まり、アートウォール(壁)として製品化。
- *アートウォール(壁)は『コミてん・カフェ』で展示。訪れる多くの方へPRしている。



ART WALL



「博多織」「博多人形」
「高取焼」「博多曲物」
伝統工芸が飾られる壁。



裏はマグネットが付いており、
レイアウトが自由に変更できる。

海と棚田が織りなす絶景、 松浦の自然環境を「まつうらカフェ」でPR。

松浦市福岡事務所



海の武士団として有名な「松浦党」発祥の地、松浦市。玄界灘・伊万里湾に面し、平地が少ない陸地では棚田が広がる。海と陸、雄大な自然・特産を紹介する「まつうらカフェ」を開催。

パネル展示や動画の素材を撮影、デザインや編集作業を行なった。動画での松浦の紹介などを市の担当職員が行い、さらに抽選会やワークショップなども行うなど、楽しいイベントとなった。

POINT

- * 松浦に咲く「水仙の花」をアレンジ展示し、風景写真とともに松浦を直に感じるものに。
- * Tシャツをはじめ様々な物産品を展示。松浦の新たな魅力を来場者に訴求。



LOCATION



Matsura
natural scenery

企業と就活生をつなぐ橋渡し。 デジタルを活用したオンライン就活セミナー。

株式会社リージョナルマネジメント



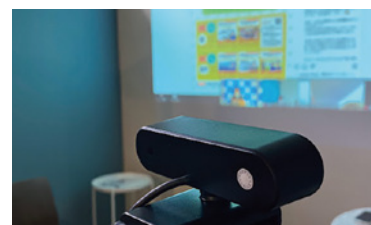
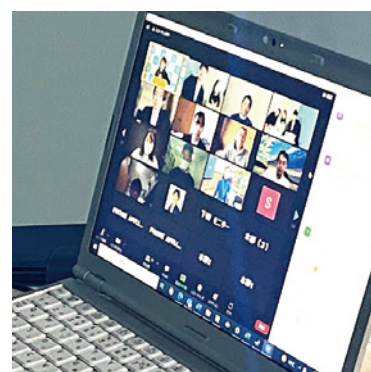
山口県にはダイヤの原石のような魅力ある企業がたくさん…そのことを知ってもらいたい!と、株式会社リージョナルマネジメントと地元の大学生がイベントを企画。実施は『コミてん』のワークスペースを活用することになった。

行動自粛の中、企業と大学生をつなぐ「就活DX」としてオンラインを活用。サテライト会場である『コミてん』からの配信、山口県萩市・長門市の企業からの配信、そして就活生と、三者がつながる就活イベントが行われた。

POINT

*インターン中の大学生が5つの企業をレポート。実際の企業風土を大学生の目線から紹介。

*LIVE(リアルタイム)で企業担当者に質問を行う。約110名と多くの方が配信に参加。



PROGRAM PROGRESS



進行は大学生が主体となって行った。



「就活のワナ」の著者であり、大学ジャーナリスト・ライターの石渡麗司さんがサテライトでナビゲートを行う。(写真右)

Re活用とアートの融合。 廃校を現代の子ども達の学び場へ。

長崎県松浦市 × 山王ひなた美術教室

動画はこちら



【長崎県松浦市】

長崎県松浦市にある「旧養源小学校」。福島小学校との統合によって廃校となり、校舎が残される。校舎を取り壊すのではなく、何か利用できないかと模索。

【山王ひなた美術教室】

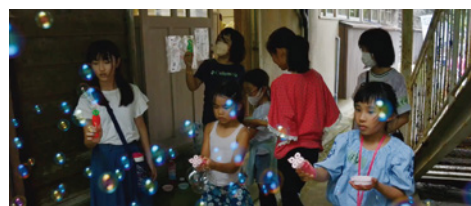
美術や工作を教えている「山王ひなた美術教室」は、“海の学び舎、プロジェクトを立ち上げ、毎年海をテーマに子ども達にたくさんの体験や活動を行っている。

RESULT

『コミてん』でイベントを行い、地域の魅力を発信している松浦市から廃校の話を聞き、そのRe活用について模索する。『コミてん』担当者がアートを思いつき、山王ひなた美術教室の成田氏に相談。子ども達のために活動している成田氏の構想と一致し、プロジェクト内に廃校での体験プログラムを取り入れた。

POINT

- *『コミてん』のクライアントからの相談。コミュニティを活用して解決へ。
- *3泊4日の林間学校に使用される廃校舎。木造の校舎での生活は子ども達には貴重な体験。



ART SCHOOL

日本財団「海と日本プロジェクト2022」
本プロジェクトは、日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環として実施しています。

山王ひなた美術教室
YAMAKUNI HINATA ART CLASSROOM



今は使われなくなった木造の小学校。みんながやってくるのをずっと待ちました！舞台は松浦市福島にある旧養源小学校。島にある小さな小学校で子ども達が3泊4日の林間学校を過ごします。地元の人との交流や夜にはグラウンドでの野外上映会。もちろん海をテーマとした学習や創作、そして釣りなどのアクティビティもいっぱい！

松浦の魅力が詰まった「まつうらカフェ」。 ラジオの特番放送を活用し、広く訴求。

松浦市福岡事務所



松浦の自然・食・特産品の数々。魅力が詰まった「まつうらカフェ」により多くの方に来場いただきたい。そのための広報施策としてラジオ特番を制作。

事前にコミてん担当者が番組内容を提案。松浦市側の要望を取り入れ台本を完成させる。放送では実際にやり取りを行なったコミてん担当者が司会を務め、松浦の魅力を引き出した。

POINT

- *ラジオで伝え、イベント・カフェで見て、触れて、食べる。一貫したプロモーション。
- *要望をもとに番組構成を立案。気心が知れた担当者も一緒に出演するので安心。



EVENT SPACE



イベントスペースでは、鰯(アジフライ)に加え、様々な特産品が振る舞われた。



スモア(焼きマシュマロ)+
ビスケット(アジフライロゴ)



フィッシュ(アジフライ)&チップス